

. 海外編

1.

1.1 在宅ケア

終末期の医療、終末期のケア

. 海外編

1 . 終末期の医療、終末期のケア

1.1 在宅ケア

No.1	
Family-Centered Care: A Resource for Social Work in End-of-Life and Palliative Care	
Author(s)	Kovacs, Pamela J.; Bellin, Melissa Hayden; Fauri, David P.
Article	Journal of Social Work in End-of-Life & Palliative Care
Vol/No/page	vol. 2, no. 1, pp. 13-27
Year	2006
<p>「家族を中心としたケア」は、疾患モデルや医療提供者を中心としたモデルから患者を中心としたモデルへの転換を図る中で、ひとつの重要な要素として注目されている。ただし、家族を中心としたケアモデルは終末期ケアや緩和ケアのニーズが増大する中でその重要性が増しているものの、まだ端緒にすぎたばかりである。そこでこの論文では、家族を中心としたケアの概念定義、終末期における家族を中心としたケアの重要性、またその実現に向けた阻害要因などについて整理している。</p> <p>「ケア提供者、患者、家族の相互に利益のあるパートナーシップによって構築されるヘルスケアの計画や実践、評価についてのアプローチ」として定義される家族を中心としたケアモデルは、実際には実現に向けて多くの困難を抱えている。とくに、家族のストレスや情報交換の失敗、ケアワーカーの多忙による時間の余裕の無さによって家族からの情報を得る機会の喪失や家族の疑問に答え教育しサポートする機会の喪失、そして病院や介護施設、ホスピスなどからの組織的なサポートの欠如などが、この新しいケアの実現を阻む要因として指摘されている。</p> <p>筆者らは、これらの実情について先行研究を整理することで説明しつつ、家族を中心としたケアが、とくに終末期の緩和ケアのよりよい実現に向けて活動するソーシャルワーカーにとって意義があるものであることを説明し、そのための実践の必要性を提言している。</p>	